学校だより

千里みらい夢学園
吹田市立竹見台中学校

TEL 06-6871-0661
FAX 06-6871-1168

令和８年９月３０日発行

学校教育目標

たくましく生き抜く力の
育成をめざす!

・自ら学び考える力の育成
・豊かな心の育成
・社会性の育成

『体育大会と学習、仲間と共に！』

校　長　　西田　知子

学校の法面には萩の花が咲き始め、朝夕には心地よい風を感じるようになりました。日中はまだ暑さの残る日が続いていますが、少しずつ秋の訪れを感じる季節となりました。

10月は、学校生活の中でも大きな行事である体育大会「すぽふぇす。」が予定されています。生徒たちは競技や応援、係活動など、それぞれの役割を担いながら準備を進めています。体育大会は勝敗を競うだけの行事ではありません。仲間と協力することの大切さを学び、自分の力を精一杯発揮する経験を通して、人として大きく成長できる貴重な機会です。怪我や体調に十分気を付けて取組んでいきましょう！

一方で、体育大会の前には中間テストも控えています。行事の準備と学習の両立は決して簡単なことではありません。しかし、限られた時間の中で計画を立て、自分に必要なことを優先して取り組む力は、これからの人生においても大切な力となるはずです。



ところで、生徒の皆さんは「なぜ勉強するのだろう」と考えたことがあるでしょうか。テストで良い点を取るため、進学のためという答えもあるでしょう。しかし、学ぶことの本当の意味はそれだけではありません。

私の祖母は「戦争になれば、身の周りのものは、みんな奪われてしまう。でも、自分が学んだこと、身に着けた知識だけは、誰にも奪うことはできない。だからこそ勉強することが大切なんだ。」と学生時代の私によく語っていました。この言葉は、私の心に強く残っている言葉でもあります。祖母は、戦争という食べることもままならない困難な時代だからこそ、人として学ぶことの意味を強く感じていたのだと思います。

現代の私たちは日々、多くの情報に触れながら生活しています。その中から正しい情報を選び、自分で考え、判断し、行動するためには知識や考える力が必要です。学習は、その力を身に付けるための大切な営みです。また、今学んでいる内容が将来そのまま役立つとは限りませんが、目標に向かって努力する習慣や、困難なことにも粘り強く取り組む姿勢は、将来どのような道に進んだとしても大きな力になります。

体育大会も学習も、一つの目標に向かって努力するという点では共通しています。仲間と力を合わせること、自分にできることを精一杯やり抜くこと、失敗を次の挑戦につなげること。その経験の積み重ねが、生徒一人ひとりを成長させてくれるのです。

生徒のみなさんにとって学びと挑戦に満ちた充実した一か月となることを願っています。

■1・3年生 総合学習発表会

9月25日（金）、1・3年生が総合学習発表会を開催しました。1年生は「たけみん万博」、3年生は「誰もが住み続けられる持続可能な街」をテーマに、それぞれ学習の成果を発表しました。両学年とも保護者の皆様にご参観いただき、生徒たちの学びを発信する機会となりました。




1年生は、福祉について学んできたことをもとに、「みんなが過ごしやすい社会」について考えた成果を発表しました。車いすやアイマスク、点字、手話などの体験活動を通して得た学びを、劇やクイズ、実演などを交えながら分かりやすく伝えていました。発表の中で紹介された「見えるバリアと見えないバリア、バリアに気づく君の優しさが明日の笑顔に」という言葉は、今回の学びを象徴する言葉だったように感じます。




また、3年生は、これまで積み重ねてきた総合学習の集大成として、自分たちの住む地域や社会のこれからについて考えた成果を発表しました。映像と演劇を組み合わせるなど、観る人に伝わるよう工夫された内容が多く見られました。また、「街をつくるのは建物ではなく、そこに暮らす人である」といったメッセージからは、自らの地域を見つめ、主体的に考えてきた様子がうかがえました。

総合的な学習の時間は、知識を学ぶだけでなく、自ら考え、仲間と協力しながら社会とのつながりについて考える大切な学習です。今回の発表会では、学年ごとにテーマは異なるものの、生徒たちが実体験や調べ学習を通して得た学びを、自分の言葉や表現で伝えようとする姿が見られました。今回の発表会で得た学びや気づきが、これからの学校生活や社会との関わりの中で生かされていくことを期待しています。

■よりよい学習環境に向けて

本校では、トイレを中心とした大規模改修工事を進めています。すでに使用を開始しているトイレもありますが、生徒が利用する一部のトイレでは現在も工事が続いており、利用に制限がある状況です。また、今後は運動場やプールのトイレについても順次改修工事が始まる予定です。

あわせて、夏休み中には下足箱の更新も行われ、校内の環境が少しずつ整備されています。



新しくなった設備は、学校生活をより快適なものにしてくれる一方で、その状態を長く保っていくことも大切です。生徒たちが施設や設備を大切に使い、気持ちのよい学校環境を維持していくことにつながればと考えています。

工事期間中はご不便をおかけする場面もあるかと思いますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

■校内教育支援教室「たけみんルーム」について



本校では、学校生活に不安を感じている生徒や、教室で過ごすことに負担を感じている生徒への支援の一つとして、校内教育支援教室「たけみんルーム」を設置しています。「たけみんルーム」は新館2階の被服室横にあり、学習に取り組むスペースに加え、畳のスペースなど落ち着いて過ごせる環境を整えています。月曜日から金曜日の1～4時間目を基本に開室し、生徒一人ひとりの状況に応じた支援を行いながら、安心して学校生活を送ることができるよう取り組んでいます。



また、この夏には室内環境の整備を行い、より落ち着いて過ごせる環境となりました。たけみんルームについて相談したい場合は、まず担任または学年の教員にご相談ください。今後も、生徒一人ひとりの状況に寄り添いながら、安心して学ぶことのできる環境づくりに努めてまいります。